

## 編集後記

また、新しい年度がはじまりましたね。本誌を読んでいる方で、4月から進学や異動で新しい研究・教育環境となった方もいらっしゃるかと思います。また、同じ職場にいる方でも、特に大学では新しい学生が入ってくるなど、新鮮な雰囲気の中で研究が再スタートするのではないのでしょうか。私も研究室に新しい学生が入ってくることを楽しみにしております。私は現在の職場は今年度で4年目に成ります。今回の職場は3つ目の職場です。最初の職場は創立されたばかりの研究所で、今の職場は新たな専攻が設置されたときに移っています。これらの職場は、環境も変わりましたが、職場そのものも新たな組織を作るということで、わくわく感といますか、期待感も高く、また楽しみや楽しさもありました。もちろん、新しい職場に異動することにより、施設が整っておらず、実験装置も一から構築しないといけない、研究体制も整っていないなど苦労したところも当然ありました。いずれにしろ、新たな研究環境に移られます

と大変苦労されることもあるかと思いますが、得るものも多々あり、また楽しいことも多いでしょう。苦労する分、楽しみも多いとも言えます。がんばってください。また、同じ職場や研究環境にいる方々も今年度は新たな研究目標を立てられたり、新たなプロジェクトを開始されたりする方々もいらっしゃるでしょうし、今までの研究開発が継続されている方でも今年度に更なる発展を目指して気持ちを引き締めていらっしゃる方々も多いかと思います。新しい年度で気持ちを新たにされている皆様方にもエールを送りたいと思います。

さて、プラズマ・核融合学会誌4月号では、解説で古くて新しい技術「パルス細線放電による超微粒子作製法」、小特集では、核融合プラズマ中の不純物輸送等の物理研究で用いられるトレーサー内蔵ペレット(TESPeL)を取り上げています。今号も、多岐に渡るプラズマや核融合分野から興味深いトピックスが掲載され、読者の皆様方も楽しまれたのではないのでしょうか。(鈴木達也)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副 会 長	永津 雅章 (推薦委員長：研究助成)	小森 彰夫 (推薦委員長：学会賞)
常務理事	室賀 健夫 (総務委員長)			
理 事	安藤 晃 (企画委員長)	石原 修	上田 良夫	
	小野 靖	甲斐 俊也 (財務委員長)	草間 義紀 (広報委員長)	
	佐々木浩一	清水 克祐	白神 宏之 (支部・地区研究連絡会委員長)	
	白谷 正治 (研究部会連絡委員長)	豊田 浩孝 (編集委員長)	波多野雄治	
	福山 淳 (年会運営委員長)	米田 仁紀		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：豊田浩孝(名大) 副委員長：米田仁紀(電通大)

エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員：石澤明宏(核融合研)、内田儀一郎(阪大)、浦野 創(原子力機構)、落合謙太郎(原子力機構)、陰山 聡(神戸大)、笠田竜太(京大)、糟谷直宏(九大)、加道雅孝(原子力機構)、川崎仁晴(佐世保高専)、柴田裕実(阪大)、清水一男(静岡大)、白石裕之(大同大)、城崎知至(広島大)、鈴木達也(長岡技科大)、高橋俊樹(群馬大)、徳沢季彦(核融合研)、沼田龍介(兵庫県立大)、長谷川純(東工大)、林 信哉(九大)、菱沼良光(核融合研)、古川 勝(鳥取大)、増井博一(九工大)、松岡彩子(JAXA)、宮澤順一(核融合研)、森 芳孝(光産業創成大学院大)、森本泰臣(日揮)、山本 聡(京大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第91巻第4号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2015年(平成27年)4月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。